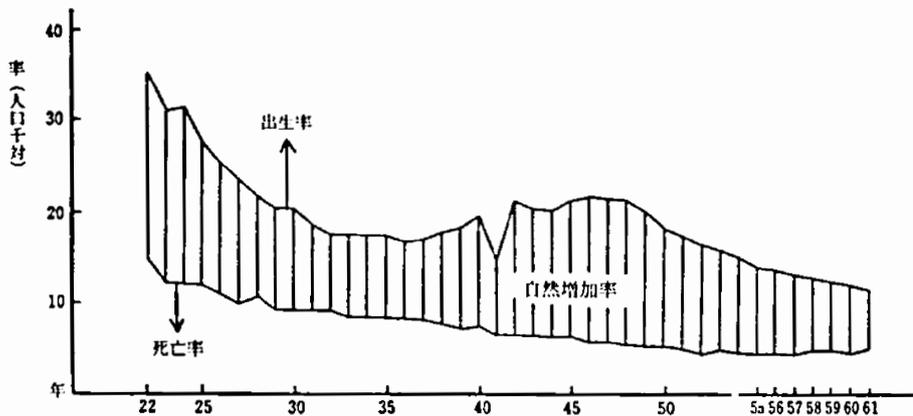


11. 人口動態の推移

昭和61年人口動態調査の出生数は57,783人(4.8%減)減少し、出生率(人口千対)も11.1と毎年低下傾向で推移している。死亡数は25,502人(2.5%増)、死亡率は4.9となり前年より0.1増加した。

婚姻数は45~48年をピークに減少、61年は29,697件(2.4%減)、婚姻率は5.7と戦後最低となった。一方、離婚数は36年以後顕著な上昇を続け、58年にピークを迎えたが、59年から減少に転じ、61年は6,634件(3.3%減)、離婚率は1.27とわずかながら増加に歯どめがかかっている。

出生率と死亡率の年次推移



年	出生数	死亡数	死産胎数	婚姻数	離婚数	自然増加 (出生- 死亡)	人口1000人 につき	
							出生率	死亡率
明治45年	43 681	28 783	5 232	10 570	1 438	14 898	31.4	20.7
大正 5	45 505	34 434	4 504	11 151	1 374	11 071	31.9	24.1
9	48 520	38 218	4 195	12 708	1 346	10 302	36.3	28.6
15	50 893	30 002	3 551	12 929	1 080	20 891	36.0	21.2
昭和 5	47 720	29 752	3 167	11 621	1 023	17 968	32.5	20.2
10	50 917	29 062	2 819	12 712	944	21 855	32.9	18.8
15	46 393	29 044	2 018	13 772	948	17 349	29.2	18.3
20	40 553	51 357	△10 804	20.6	26.1
25	58 578	26 330	4 389	17 477	1 658	32 248	27.4	12.3
30	44 689	20 372	3 909	16 331	1 340	24 317	20.3	9.5
35	39 267	19 365	3 661	20 204	1 254	19 902	17.3	8.4
40	53 957	19 603	3 803	25 706	1 536	34 354	20.0	7.3
45	72 481	21 051	3 894	35 364	2 596	51 430	21.8	6.3
50	77 416	21 768	3 385	36 867	3 937	55 648	18.7	5.2
55	65 554	22 965	2 617	31 760	5 426	42 589	13.9	4.9
57	65 489	23 063	2 729	32 106	6 414	42 426	13.3	4.7
58	64 288	24 676	2 490	31 503	7 212	39 612	12.9	4.9
59	63 570	24 637	2 594	30 568	7 197	38 933	12.5	4.9
60	60 719	24 891	2 408	30 424	6 858	35 828	11.8	4.8
61	57 783	25 502	2 327	29 697	6 634	32 281	11.1	4.9

注) この表は人口動態調査による。人口動態調査は明治32年から実施されたもので、各市町村が戸籍法による届出及びその他の関係書類を資料として作成した人口動態票を国において分類集計したものである。

なお、この表の数は日本人の本県内に常住地を有するものである。出生、死亡、死産、婚姻、離婚はその年に発生した数である。昭和15年の死亡数には戦死者、戦病死者数は含まれない。

資料 昭和50年までは、厚生省大臣官房統計情報部「人口動態の概況」、51年以降は薬務課「千葉県衛生統計年報」